

野村ブラックロック循環経済関連株投信

Aコース（米ドル売り円買い）／Bコース（為替ヘッジなし）

愛称：**ザ・サーキュラー**—**THE CIRCULAR**

追加型投信／内外／株式

純資産総額が**1,500億円**を突破！

日頃より「野村ブラックロック循環経済関連株投信 愛称:ザ・サーキュラー」(以下、ファンド)をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。

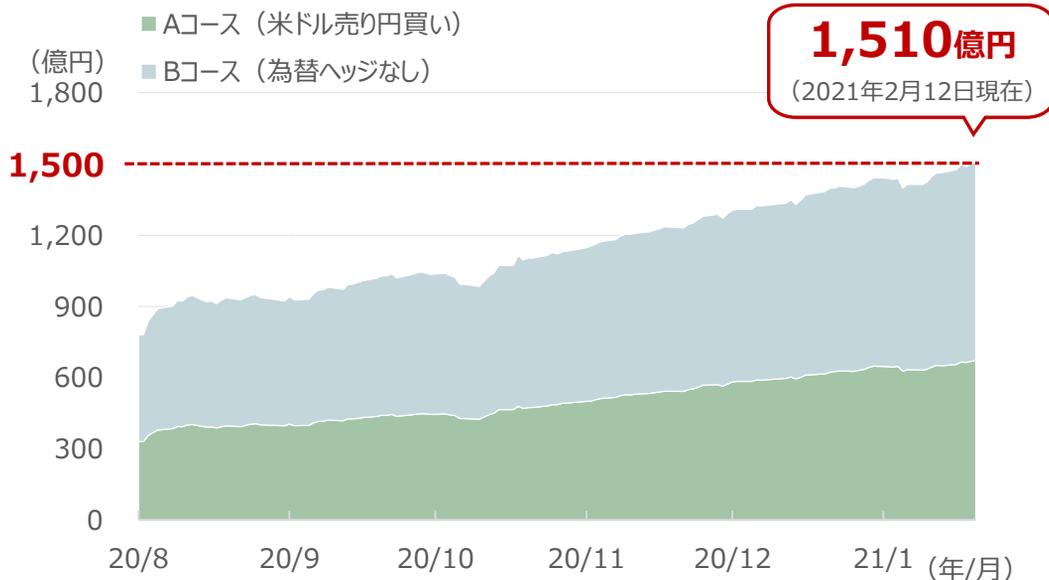
この度、ファンドの純資産総額が1,500億円を突破しました。

ファンドでは、従来型の経済モデル「とって作って捨てるという一方通行型」から、新たな経済モデル「サーキュラーエコノミー(循環経済)」への移行や意識の高まりといった潮流に焦点を当て、投資リターンの源泉としています。

引き続き、ご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

各コースの純資産総額の推移

期間：2020年8月24日(設定日)～2021年2月12日、日次



上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

サーキュラーエコノミーによって、4つの社会的課題解決へ

2015年9月の国連サミットにおいて「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられ、全世界規模で社会的課題を解決するという決意が示されました。ファンドでは17の目標のうち、目標の**11「住み続けられるまちづくりを」**、**12「つくる責任つかう責任」**、**13「気候変動に具体的な対策を」**、**14「海の豊かさを守ろう」**を達成する手段として、サーキュラーエコノミー分野へ投資をします。

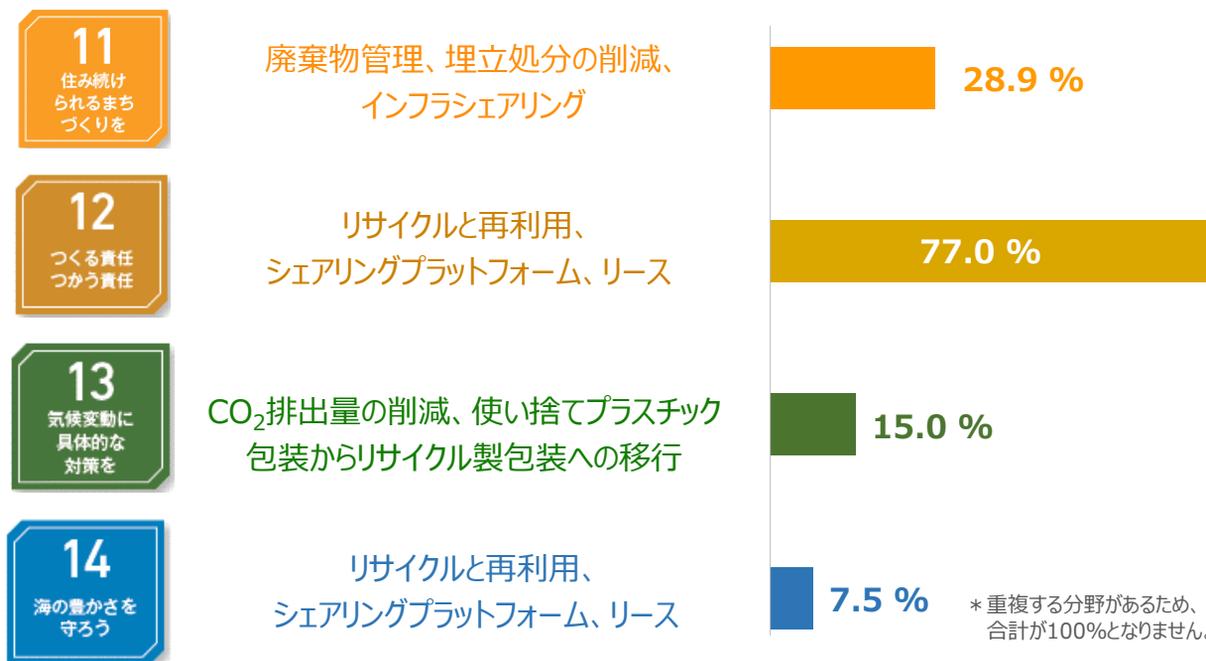
2016年～2030年 持続可能な開発目標(SDGs)

全ての国の国際目標・国連全加盟国で実施



関連するサーキュラーエコノミーの ビジネスモデル例

投資対象ファンド※の SDGs分野別保有比率



※ファンドが投資対象とする外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」の2020年12月31日現在の資産内容です。

(出所) ブラックロックの情報提供を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

サーキュラーエコノミーが社会に与えるインパクト(影響)

ファンドでは、サーキュラーエコノミーに関連する企業への投資にあたり、4つのSDGs目標に基づき、3つの分野「**変化に適応する企業／変化を促進する企業／変化の恩恵を受ける企業**」を投資対象としています。企業のサーキュラーエコノミーへの取り組みや主要国の循環型経済政策など、今後のサーキュラーエコノミーへの移行が期待されています。ファンドが投資する3つの分野の企業は、社会的な課題解決に貢献し、社会にインパクトを与えています。

ファンドの投資対象企業のサーキュラーエコノミーの取り組み事例と効果

循環型経済への投資規模

100億ユーロ

欧州投資銀行が加入するイニシアチブを通じて2030年までに行なうことを目標としています。



水資源の使用削減

90%

リサイクルポリエステルは、通常のポリエステルと比較して生産過程で使用する水の量が9割程度削減されています。



古着回収ボックスの設置

7,469箇所

古着の再利用、リサイクルを目的とした衣服回収ボックスの店舗設置が進んでいます。

ペットボトルのリサイクル

10億本

年間10億本のペットボトルが、リサイクルポリエステルに生まれ変わり、スポーツ用のウェアやスニーカー等に活用されています。



再利用可能な素材

90%

ストレッチフィルム※製造時に発生する廃棄物の90%を再利用可能な素材にリサイクルしています。

※梱包用ラップ

埋立・廃棄されるロックウール※のリサイクル

23,680トン

※断熱材や吸音材として使用される人造鉱物繊維



リサイクルプラスチック

35万トン

廃棄物から、35万トンのリサイクルプラスチックが製造されています。

(出所) ブラックロックの情報提供を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去の取り組み事例と効果の説明を目的としており、全てを網羅したものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

基準価額と純資産総額の推移

期間：2020年8月24日(設定日)～2021年2月12日、日次

Aコース（米ドル売り円買い）



Bコース（為替ヘッジなし）



基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

商品説明動画はこちら



運用担当者メッセージ
動画はこちら



BlackRock
運用担当者からの
Message



次世代に向けた
積立投資動画はこちら



上記QRコードの遷移先は野村アセットマネジメントで管理しているサイトです。

ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- ファンドは投資する外国投資法人において、米ドル売り円買いの為替取引を行なう「Aコース」と対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行わない「Bコース」から構成されています。
- 各々以下の外国投資法人である「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
Aコース (米ドル売り円買い※)	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドー クラス I2ヘッジ(円建て)
Bコース (為替ヘッジなし)	ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンドー クラス I2(円建て)

※Aコースにおける「米ドル売り円買い」とは、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度の米ドル売り円買いの為替取引を行なうことをいいます。したがって、保有する実質的な外貨建資産について対円で為替ヘッジを行なうことを目的としていません。詳しくは、交付目論見書の「為替変動リスク」をご覧ください。

- 通常の状況においては、「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」への投資を中心とします*が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。
※通常の状況においては、「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

■ 外国投資法人「ブラックロック・グローバル・ファンズーサーキュラー・エコノミー・ファンド」の主な投資方針について ■

- ・新興国を含む世界各国の金融商品取引所に上場している企業の株式を主要投資対象とし、トータル・リターンを最大化を目指して運用を行なうことを基本とします。
- ・クラスI2ヘッジ(円建て)は、実質的な通貨配分にかかわらず、原則として純資産総額を米ドル換算した額とほぼ同額程度、米ドル売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。
- ・クラスI2(円建て)は、原則として対円での為替ヘッジを目的とした為替取引を行いません。

- ファンドはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- 原則、毎年2月および8月の6日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。

分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、株式等に実質的に投資する効果を有しますので、当該株式の価格下落や、当該株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 2030年8月6日まで（2020年8月24日設定）
- 決算日および収益分配 年2回の決算時（原則、2月および8月の6日。休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万口以上1口単位（当初元本1口＝1円）または1万円以上1円単位（ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動けいぞく投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。）
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
- スイッチング 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が下記のいずれかの休業日に該当する場合または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
・ニューヨークの銀行 ・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルグの銀行
・ニューヨーク証券取引所 ・ロンドン証券取引所
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

（2021年2月現在）

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年1.10%（税抜年1.00%）の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 ^(注) 年1.83%程度（税込） (注)ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
◆その他の費用・手数料	組入価額等の変動の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間等に
応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

◆お申込みは

野村証券

商号：野村証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第142号
加入協会：日本証券業協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人金融先物取引業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／
一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<http://www.nomura-am.co.jp/>



当資料について

- 当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

お申込みに際してのご留意事項

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。